

取扱説明書



PLETHORA X5

MASH スイッチを搭載し、Bluetooth 接続による TonePrint 編集にも対応した最大 127 のボードを保存可能な TonePrint ペダルボード

はじめに

この度は PLETHORA X5 をご購入いただき、誠にありがとうございます。

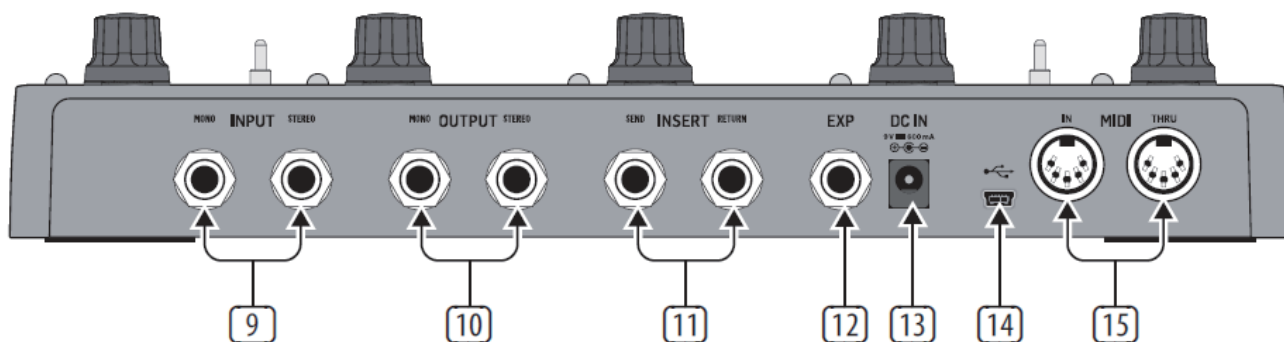
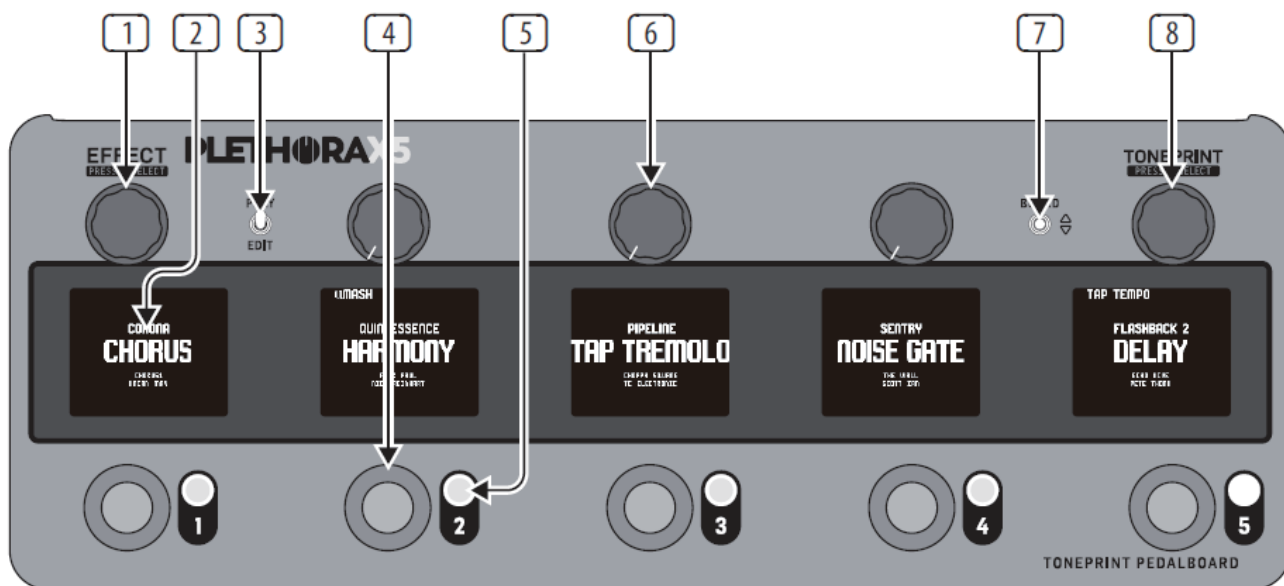
PLETHORA X5 は TonePrint ペダルシリーズのアルゴリズム、ルーパー、キャビネットシミュレーターなど内蔵し、Bluetooth 接続での TonePrint による編集にも対応した最大 127 のボードを持つ TonePrint ペダルボードです。

このペダルを最大限に活用するために、本マニュアルをご参考ください。

本マニュアルは最新のファームウェアバージョン (FW.1.3.11) に対応しています。

ご利用いただく前に本マニュアルの P.12 をご参考いただき、PLETHORA X5 本体を最新の状態にアップデートしていただくことをお勧めいたします。

PLETHORA X5 のコントロール



① **EFFECT ノブ** : EDIT モード内でこのノブを回すことで、EFFECT リストをスクロールすることができます。ノブを押すことで選択した EFFECT を確定し、選択されているフットスイッチへアサインします。PLEY モード中は機能しません。

② **LCD ディスプレイ** : PLAY モード時はフットスイッチごとにアサインされている EFFECT や MASH、TAP テンポなどの情報を表示します。EDIT モード時は EFFECT リストや TonePrint リスト、ノブのパラメーターなどの情報が表示されます。

③ **PLAY/EDIT スイッチ** : PLAY モードと EDIT モード切り替えます。

④ **FOOTSWITCH** : PLAY モード時に FOOTSWITCH を押すと、該当するスロットの EFFECT が ON/OFF されます。また MASH 機能が有効になっている場合は、FOOTSWITCH の押し込み具合で MASH にアサインされているパラメーターを操作できます。TAP テンポが有効になっている場合は、数秒間 FOOTSWITCH を長押しすることで、テンポを TAP することができるようになります。

EDIT モード時にあ FOOTSWITCH を押すと、編集するスロットを選択出来ます。

⑤ **インジケーター LED** : 各スロットのエフェクト ON/OFF 状態を表します。

⑥ **PARAMETER ノブ** : EDIT モード内でこのノブを回すことで、選択されているスロットの EFFECT にアサインされているパラメーターを調整することができます。PLAY モード時は HOT KNOZ 機能で割り当てられたパラメーターを調整することが可能です。

⑦ **BOARD スイッチ** : PLAY モード時は PLETHORA 内の BOARD を切り替えることが可能です。EDIT モード時は上に倒すと、BOARD の新規作成 (CREATE)/複製 (DUPLICATE)、下に倒すと BOARD の削除 (DELETE)、スロット初期化 (CLEAR) が行えます。

⑧ **TONEPRINT ノブ** : EDIT モード内でこのノブを回すことで、TONEPRINT リストをスクロールすることができます。ノブを押すことで選択した TONEPRINT を確定できます。また、TONEPRINT をハイライトし、ノブを押し続けることでその TONEPRINT を削除 (DELETE) することもできます。PLEY モード中は機能しません。

⑨ **INPUT(MONO/STEREO)** : 標準の 6.3mm(1/4')TS ケーブルを接続します。ステレオ接続の場合は 2 つの INPUT を使用しますが、モノラル接続の場合は MONO 側のジャックのみを使用します。

⑩ **OUTPUT(MONO/STEREO)** : 標準の 6.3mm(1/4')TS ケーブルを接続します。ステレオ接続の場合は 2 つの OUTPUT を使用しますが、モノラル接続の場合は MONO 側のジャックのみを使用します。

⑪ **INSERT(SEND/RETURN)** : 標準の 6.3mm(1/4')TS ケーブルを使用し、外部エフェクトペダルまたはラックユニットを接続し、PLETHORA のシグナルチェーンに外部エフェクトを取り込むことができます。PLETHORA の SEND 端子から外部ユニットの INPUT へ接続し、外部ユニットの OUTPUT から PLETHORA の RETURN 端子へ接続します。これらの端子は後述する 4CM(4 ケーブルメソッド)でも使用します。

⑫ **EXP** : 6.3mm(1/4')TS ケーブルを使用して外部エクスプレッションペダルを接続できます。

⑬ **DC INPUT** : 付属の電源アダプター (9VDC センターマイナス /670mA) を接続します。PLETHORA を使用する際は、必ず付属のアダプターまたは TC Electronic/POWER PULG 9 をご利用ください。それ以外のアダプターやパワーディストリビューターを使用すると正常に動作しない場合があります。

⑭ **USB** : ファームウェアアップデートや TonePrint App への接続を行うために使用する端子です。付属の USB ケーブルを使用して PC/Mac へ接続します。

⑮ **MIDI IN/THRU** : 外部 MIDI コントロールによりパラメーターコントロールや FOOTSWITCH の ON/OFF、BOARD の切り替えなどを行うことが可能です。(P.12 の MIDI インプリメンテーションをご参考ください。)

EFFECT について

PLETHORA X5 の EFFECT リストには以下の EFFECT が搭載されています。(FW.1.3.11 時点)

EFFECT	タイプ	TONEPRINT 対応	FOOTSWITCH モード
CORONA CHORUS	コーラス	Y	MASH
HYPERGRAVITY COMPRESSOR	コンプレッサー	Y	MASH
FLASHBACK 2 DELAY	ディレイ	Y	MASH/TAP TEMPO
MIMIQ DOUBLER	ダブラー	N	-
VORTEX FLANGER	フランジャー	Y	MASH
QUINTESSENCE HARMONY	ピッチ	Y	MASH
TAPE DECK LOOPER	ルーパー	N	-
SENTRY NOISE GATE	ノイズゲート	Y	MASH
SUB'N'UP OCTAVER	オクターバー	Y	MASH
HELIX PHASER	フェイザー	Y	MASH
BRAINWAVES PITCH SHIFTER	ピッチ	Y	MASH
HALL OF FAME 2 REVERB	リバーブ	Y	MASH
PIPELINE TAP TREMOLO	トレモロ	Y	MASH/TAP TEMPO
VISCOUS VIBE	コーラス / ビブラート	Y	MASH/RAMP
SHAKER VIBRATO	ビブラート	Y	MASH
ALTER EGO VINTAGE ECHO	ディレイ	N	TAP TEMPO

※ TONEPRINT 対応項目が“N”の EFFECT は TONEPRINT に対応していない、または TONEPRINT EDITOR による編集に対応していません。

※ TONEPRINT については P.9 の TonePrint とは項目をご参照ください。

・BYPASS EMPTY: 該当スロットをバイパスさせ、空スロットにします。BOARD の新規作成時は全てのスロットにこの” BYPASS EMPTY” がアサインされています。

・INSERT FX LOOP: FX LOOP(INSERT)に接続されている外部エフェクトをスロットに割り当てます。これにより PLETHORA の FOOTSWITCH を使用して、外部エフェクトシグナルを PLETHORA のシグナルチェーン内で ON/OFF 出来ます。(詳細は P.7 の FX LOOP について項目をご参照ください。)

PLETHORA X5 では最大で 5 つの EFFECT を同時に使用することが可能です。

もちろん、同じ EFFECT を複数使用することも可能ですが、内部 DSP リソースの使用状況によって使用可能な EFFECT および数に限りが発生します。

BRAINWAVES PITCH SHIFTER や SUB'N'UP OCTAVER、QUINTESSENCE HARMONY などのピッチベースエフェクトは DSP リソースを非常に多く消費します。また、FLASHBACK 2 DELAY や HALL OF FAME 2 REVERB なども DSP リソースの消費量が多く、特に CRYSTAL や SHIMMER などのピッチベースアルゴリズムとタイムベースアルゴリズムを同時に使用する TonePrint はさらに多くの DSP リソースを使用するため、同時に複数使用する際はご注意ください。

PLETHORA 内の DSP リソースが足りなくなると、使用できない EFFECT は EFFECT リスト内でグレイアウトします。

この際は選択可能な他の EFFECT を選択いただくか、TonePrint を変更するなどして使用する EFFECT が DSP リソース内に収まるようにしてください。

● TUNER 機能

PLETHORA X5 には UNITUNE クロマチックチューナーが搭載されています。

PLAY モードで TONEPRINT ノブを長押しする、または後述する SETTINGS 内で FSW ACTIVE TUNER を ON にすることで、チューナーを起動できます。

これは EFFECT スロットとは独立した隠しスロットになっており、他の EFFECT リソースには影響しません。

また、TUNER がアクティブになっているとき、OUTPUT からの出力はミュートされます。

TUNER モード時に何らかの操作を行うと、通常の PLAY モードに戻ります。

SETTING について

EFFECT リストを一番下までスクロールすると“PLETHORA X5 SETTINGS”という項目が表示され、EFFECT ノブを押し込むと PLETHORA の SETTING 画面に入ることができます。

SETTING は以下のメニューで構成されます。

これらのパラメーターの選択や決定は全て EFFECT ノブで行います。

ノブを回すと項目がハイライトされ、押し込むと決定されます。

● GLOBAL SETTINGS

PLETHORA の LCD ディスプレイを左側からディスプレイ 1 → 5 と表記しています。

ディスプレイ 1	ディスプレイ 2	ディスプレイ 3	ディスプレイ 4	ディスプレイ 5	概要	
GLOBAL	BLUETOOTH	CONNECT	-	-	BLUETOOTH を ON にします。	
		DISCONNECT	-	-	BLUETOOTH 接続を解除します。	
	PRODUCT SETTINGS	BYPASS TYPE	BUFFERED/TAILS	-	-	バイパスモードをエフェクトテールの残るバッファードバイパスに設定します。
			BUFFERED/NO TAILS	-	-	バイパスモードをエフェクトテールの残らないバッファードバイパスに設定します。
			TRUE BYPASS	-	-	バイパスモードをトゥルーバイパスに設定します。
		CAB SIMULATION	※ CAB SIM について項目を参照	-	-	キャビネットシミュレーターを ON/OFF します。
		QUICK SWAP	ON	-	-	EFFECT のクイックスワップを ON にします。*1
			OFF	-	-	EFFECT のクイックスワップを OFF にします。*1
		FSW BOARD ▽△	OFF	-	-	FOOTSWITCH による BOARD 切り替えを OFF にします。
			1+2 / 2+3	-	-	FOOTSWITCH 1 と 2 を同時に押す、または FOOTSWITCH 2 と 3 を同時に押すことで、BOARD を切り替えることができるように設定できます。*1
	TRIPLE TAP FSW 1/2		-	-	FOOTSWITCH 1 または 2 を 3 回連続で踏むことで BOARD を切り替えることができるように設定できます。	
	FSW ACTIVE TUNER	OFF	-	-	FOOTSWITCH による TUNER コントロールを OFF にします。	
		TRIPLE TAP FSW 5	-	-	FOOTSWITCH 5 を 3 回連続で踏むことで TUNER をアクティブにするように設定できます。	
	MIDI	CHANNEL SELECT	OMNI, 1-16	-	-	MIDI の受信チャンネルを設定します。
		CC TABLE	※ MIDI インプリメンテーション参照	-	-	PLETHORA における MIDI CC のマッピングを表示します。
	DISPLAY SETTINGS	CHAIN ORDER	RIGHT TO LEFT	-	-	PLETHORA の PLAY モード画面上の EFFECT シグナルチェーンを右から左に設定します。(FSW 5-1 の流れ)
			LEFT TO RIGHT	-	-	PLETHORA の PLAY モード画面上の EFFECT シグナルチェーンを左から右に設定します。※デフォルト設定 (FSW 1-5 の流れ)
		COLORS	OFF	-	-	PLAY モード時の各スロットの EFFECT 表示を白黒にします。
			DOTS	-	-	PLAY モード時の各スロットの EFFECT 表示に内側のカラードットを追加します。
			LINE	-	-	PLAY モード時の各スロットの EFFECT 表示にカラーラインを追加します。
		TEMPO	SHOW IN BPM	-	-	PLAY モード上の TEMPO 表示を BPM 表記にします。
			SHOW IN ms	-	-	PLAY モード上の TEMPO 表示を ms 表記にします。
		EXP CALIBRATION *2	AUTOMATIC	-	-	接続されている EXP ペダルを自動的にキャリブレーションするモードです。
			MANUAL	-	-	接続されている EXP ペダルを手動でキャリブレーションするモードです。CALIBRATE にてキャリブレーションを行う必要があります。
			CALIBRATE	-	-	EXP のキャリブレーションモードに入ります。
	SERVICE	SYSTEM EXPORT	-	-	-	PLETHORA に問題が発生した際に、テクニカルサポートスタッフが問題を特定するために使用するファイルをエクスポートできます。通常は使用しません。
		START FRONT TEST	-	-	-	FRONT パネルのテストを開始します。通常は使用しません。
		FACTORY REST	-	-	-	本体を工場出荷時に戻します。
	ABOUT	SERIAL	-	-	-	本体のシリアルナンバーを表示します。
		FIRMWARE	-	-	-	本体のファームウェア情報を表示します。
		BT	-	-	-	Bluetooth 情報を表示します。
		BSP	-	-	-	本体の BSP 情報を表示します。

*1 FSW BOARD ▽△の“1+2 / 2+3”が設定されている場合は、QUICK SWAP が OFF になります。QUICK SWAP を使用する場合は“1+2 / 2+3”を OFF にしてください。

*2 EXP 端子に EXP ペダルが接続されている場合のみアクティブになります。それ以外の場合はグレーアウトします。

これらの GLOBAL SETTINGS は全ての BOARD に一括で適用される設定となり、BOARD 個別に設定を行うことはできません。

● BOARD SETTINGS

PLETHORA の LCD ディスプレイを左側からディスプレイ 1 → 5 と表記しています。

ディスプレイ 1	ディスプレイ 2	ディスプレイ 3	ディスプレイ 4	ディスプレイ 5	概要	
BOARD	EXP ASSIGNMENT	MODIFIER	各 FSW No と EFFECT 名	EXPRESSION MODIFIER	EXP ペダル使用時に、選択したエフェクトのパラメーターをアサインします。EXPRESSION MODIFIER では事前定義された MODIFIER MAPPING がアサインされます。(TonePrint Editor にて設定可能、VOLUME と MODIFIER を同時にアサインすることはできません。)	
				選択した EFFECT のパラメーター	EXP ペダル使用時に、選択したエフェクトのパラメーターをアサインします。各パラメーター毎にアサインを行うことができ、アサインされたパラメーターは白くハイライトされます。(パラメーターのレンジは 0-100 までの固定となり、調整はできません。)	
		VOLUME	OFF	-	-	EXP ペダルを VOLUME ペダルとして使用する機能を OFF にします。(MODIFIER と同時に使用することはできません。)
			VOL → 1	-	-	VOLUME ペダルを EFFECT スロット 1 の前 (INPUT 直後) に配置します。
			1 → VOL → 2	-	-	VOLUME ペダルを EFFECT スロット 1 と EFFECT スロット 2 の間に配置します。
			2 → VOL → 3	-	-	VOLUME ペダルを EFFECT スロット 2 と EFFECT スロット 3 の間に配置します。
			3 → VOL → 4	-	-	VOLUME ペダルを EFFECT スロット 3 と EFFECT スロット 4 の間に配置します。
			4 → VOL → 5	-	-	VOLUME ペダルを EFFECT スロット 4 と EFFECT スロット 4 の間に配置します。
			5 → VOL	-	-	VOLUME ペダルを EFFECT スロット 5 の後 (OUTPUT の前) に配置します。
		FOLLOW FX LOOP	BEFORE SEND	-	-	VOLUME ペダルを FX LOOP SEND の前に配置します。(FX LOOP のスロットが変更されると、VOLUME ペダルも追従します。)
	AFTER RETURN		-	-	VOLUME ペダルを FX LOOP RETURN の後に配置します。(FX LOOP のスロットが変更されると、VOLUME ペダルも追従します。)	
	HOT KNOBZ	各 FSW No と EFFECT 名	KNOB 1	各 FSW No と EFFECT 名	選択した EFFECT のパラメーター	PLAY モード時、パラメーターノブ (ノブ 1-3) でコントロールしたいエフェクトとパラメーターをそれぞれアサインします。各パラメーター毎にアサインを行うことができ、アサインされたパラメーターは白くハイライトされます。(パラメーターのレンジは 0-100 までの固定となり、調整はできません。)
			KNOB 2			
			KNOB 3			
	2nd FSW FUNCTION	各 FSW No と EFFECT 名	MASH	-	-	各 FOOTSWITCH のサブ機能として MASH をアサインします。(利用可能な場合のみ)
			TAP TEMPO	-	-	各 FOOTSWITCH のサブ機能として TAP TEMPO をアサインします。(利用可能な場合のみ)
			NONE	-	-	各 FOOTSWITCH のサブ機能を OFF にします。
	FX LOOP INSERT*3	INS → 1	-	-	-	FX LOOP を EFFECT スロット 1 の前 (INPUT 直後) に配置します。
		1 → INS → 2	-	-	-	FX LOOP を EFFECT スロット 1 と EFFECT スロット 2 の間に配置します。
		2 → INS → 3	-	-	-	FX LOOP を EFFECT スロット 2 と EFFECT スロット 3 の間に配置します。
		3 → INS → 4	-	-	-	FX LOOP を EFFECT スロット 3 と EFFECT スロット 4 の間に配置します。
		4 → INS → 5	-	-	-	FX LOOP を EFFECT スロット 4 と EFFECT スロット 5 の間に配置します。
		5 → INS	-	-	-	FX LOOP を EFFECT スロット 5 の後 (OUTPUT の前) に配置します。
OFF		-	-	-	FX LOOP のインサートを OFF にします。	

*3 スロット 1-5 のいずれかで "INSERT FX LOOP" スロットがアサインされている場合、この機能はグレーアウトし設定を行うことができません。BOARD SETTINGS 内の FX LOOP INSERT で FX LOOP の場所を設定した場合は、FX LOOP の ON/OFF を FOOTSWITCH で行うことができなくなりますが、スロット 1-5 のいずれかを潰すことなく FX LOOP を使用できます。

これらの BOARD SETTINGS は GLOBAL SETTINGS とは異なり、BOARD ごとに異なる設定を保存することが可能です。

FX LOOP について

PLETHORA X5 には外部エフェクトを統合することが可能な INSERT FX LOOP が備わっています。
この FX LOOP には 2 つの使用方法があります。

● EFFECT スロット 1-5 のいずれかに INSERT FX LOOP スロットをアサインする行う方法

→外部エフェクトを PLETHORA 内のエフェクトと同じように ON/OFF 切り替えでき、PLETHORA 側のコントロールのみで FX LOOP のエフェクトを使用できますが、5 つの EFFECT スロットのいずれか 1 つを使用する必要があります。
曲やシチュエーションに併せてオーバードライブやディストーションなどの単体歪みペダルを個別に ON/OFF する必要がある際に非常に便利です。

● FX LOOP INSERT を設定し、内部の EFFECT スロットを潰さずに外部エフェクト側で ON/OFF を行う方法

→任意のスロット間に INSERT として FX LOOP をアサインすることができ、5 つの EFFECT スロットを犠牲にすることなく FX LOOP を使用できますが、PLETHORA 側のコントロールで外部エフェクトの ON/OFF を行うことができません。
常に ON にしておきたい外部エフェクトがある場合や、4CM(4 ケーブルメソッド)を行う場合に非常に便利です。

また、FX LOOP を使用する際、EXP ペダルを VOLUME に設定し、FOLLOW FX LOOP に設定すると VOLUME ペダルが FX LOOP に追従します。

FOLLOW FX LOOP を BEFORE SEND に設定した場合、FX LOOP 内にダイナミクスに反応しやすい歪みペダルが接続されていれば VOLUME ペダルを使用し、音量を調整することでその歪み量を調整することができます。

FOLLOW FX LOOP を AFTER RETURN に設定した場合、FX LOOP 内のエフェクトシグナルの質を変更することなく、FX リターンの音量のみを調整することができます。

● 4CM(4 ケーブルメソッド)について

一般的にギターエフェクトはアンプの前に接続されますが、アンプなどで歪みを作っている場合ディレイやリバーブなど一部の空間系 / モジュレーションエフェクトの素晴らしいサウンドを最大限に発揮できず、ダーティーな音になってしまう場合があります。これらのサウンドがあなたの好みであれば問題ありませんが、誰しもがそうではありません。

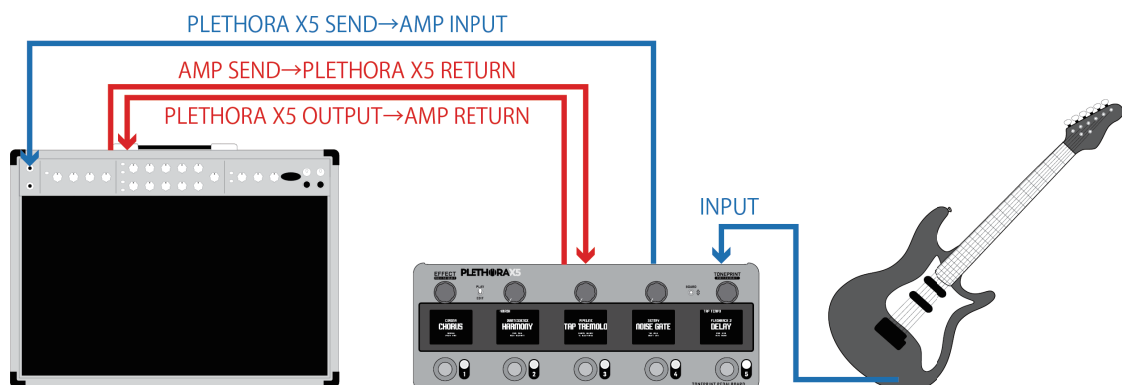
そこで、誕生したケーブリング方法が” 4CM(4 ケーブルメソッド)” です。

4CM はアンプのプリアンプセクションの前に接続するエフェクトと、アンプのプリアンプセクションの後段に接続するエフェクトを分けてシグナルチェーンに統合することができるケーブリング方法で、これによりアンプおよびエフェクトのサウンドを最大限に発揮することができます。

PLETHORA X5 は FX LOOP を備えているため、この 4CM を実現することが可能です。

PLETHORA X5 で 4CM を行う際、ケーブルの流れとしては以下のような流れになります。

この接続では PLETHORA X5 内の FX LOOP の前にある EFFECT は” **プリアンプの前**” に配置され、FX LOOP の後にある EFFECT は” **プリアンプの後**” に配置されます。



CAB SIM について

PA やオーディオインターフェースに直接 PLETHORA X5 を接続できるように、TC Electronic のエンジニアによってギター / ベース用に作成されたキャビネットシミュレーターが備わっています。

これらのキャビネットシミュレーターは GLOBAL SETTINGS>PRODUCT SETTINGS > CAB SIMULATION から設定することができ、アンプなどがないシチュエーションや自宅でのレコーディングなどに非常に役に立ちます。

PLETHORA X5 に搭載されているキャビネットシミュレーターは以下の 9 種類です。

名称	タイプ	スピーカー
JOSE 30 4x12	ギター	12" x 4
VINTAGE 4x12	ギター	12" x 4
CREAMY 4x12	ギター	12" x 4
65 4x12	ギター	12" x 4
GREENERY 4x12	ギター	12" x 4
BLUEY 2x12	ギター	12" x 2
CREAMY 1x12	ギター	12" x 1
GOLDEN 1x12	ギター	12" x 1
BASS 1x15	ベース	15" x 1

これらのキャビネットシミュレーターはグローバル設定のため全ての BOARD に同様の設定が適用されます。

PLETHORA X5 を直接アンプへ接続する場合や、アンプシミュレーター / プリアンプへ接続する際はキャビネットシミュレーターを OFF にすることを推奨いたします。

TAPE DECK LOOPER について

PLETHORA X5 には RAM ベースの TAPE DECK LOOPER が備わっています。

最大モノラル 80 秒 / ステレオ 40 秒の録音が可能で、5 つまで同時に使用することが可能です。(LOOP はシンクできません。)

TAPE DECK LOOPER の動作は以下の通りです。

動作	操作
REC	FOOTSWITCH を 1 回押す
PLAY	REC 時または、STOP 時に FOOTSWITCH を 1 回押す
O-DUB	PLAY 時に FOOTSWITCH を 1 回押す
STOP	PLAY または REC 時に、FOOTSWITCH を 2 回押す
CLEAR	FOOTSWITCH を長押しする

・LOOPER の再生レベルは EDIT モードで設定できます。また、HOT KNOBZ に LOOPER LEVEL をアサインすることで、PLAY モード時もノブで LOOP の音量を調整することができます。

・LOOPER はレコードバッファーが最大になったタイミングでも再生を開始します。

・LOOP を STOP した場合、LOOP の途中ではなく最初に戻ります。

TAPE DECK LOOPER は MIDI CC でもコントロールすることが可能です。詳しくは P.10 の MIDI インプリメンテーションをご参考ください。

TonePrint について

Tone Printとは？

TonePrint は、TC Electronic によって開発された「アーティストが自分のニーズに合わせてゼロから構築する」エフェクトの独自のシグネチャープリセットです。TonePrint を使用すると、TonePrint ペダルの特性を数秒で完全に変更できます。

また無料の TonePrint App を使用することでコントロールするパラメーターや数、EQ カーブなど、ペダルのありとあらゆる箇所を調整することができます。

さらに、世界的に著名なアーティストが作成した TonePrint に加えて、クラシックなヴィンテージサウンドからモダンでクールなサウンドまで、TC Electronic のトーンテクニシャンが作成した独自のテンプレートも自由に使用できます。

PLETHORA X5 はこの素晴らしい TonePrint テクノロジーに対応しており、本体に搭載されたほぼすべての TonePrint ペダルの TonePrint を編集することが可能です。

これによりご自身でカスタムした自分自身のシグネチャーサウンドや、著名なアーティストが作成したシグネチャートーンを複数同時にペダルにインポートしておけます。

TonePrint について詳しい内容や TonePrint App/Editor のマニュアルは以下の URL をご参考ください。

TonePrint とは？ :https://electori.co.jp/tcelectronic/about_TonePrint.htm

TonePrint Editor V4 マニュアル :https://electori.co.jp/tcelectronic/pdf/TonePrint_Editor_V4_Reference_Manual_ver_JP_rev_1_4.pdf

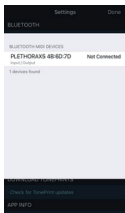
※ TonePrint Editor を使用し、パラメーターをエディットするためには USB ケーブルを使用し PC/Mac と接続する、Bluetooth 経由で iOS/Android のスマートフォン / タブレットデバイスと接続する必要があります。

BLEETOOTH 接続

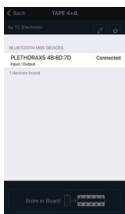
PLETHORA X5 は BLEETOOTH 機能を搭載した初めての TC Electronic 製品です。
BLEETOOTH で iOS/Android デバイス上の TonePrint App と接続することで、TonePrint 編集を無線で行うことができます。
また、TonePrint App 内の BOARD タブでは、PLETHORA X5 内の BOARD の順番入れ替えや名前の変更を行うこともできます。

BLEETOOTH 接続は以下の方法で行います。(iOS/Android デバイスの Bluetooth をあらかじめ ON にしてください。)

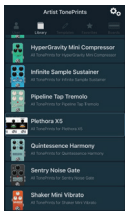
1. PLETHORA X5 の SETTINGS > GLOBAL > BLEETOOTH > CONNECT を選択します。
2. iOS/Android デバイスで TonePrint App を開きます。
3. 右上の歯車マークをタップし、” Connect to a bluetooth enabled pedal” を選択します。
4. BLEETOOTH MIDI DEVICE が表示されますので、” PLETHORA X5” を選択します。



5. 画面表示が Connected に変わったら接続完了です。



6. PLETHORA X5 と接続されていると、Library または Template タブで ” PLETHORA X5” がハイライトされます。



TonePrint については P.9 の TonePrint とは項目をご参照ください。

MIDI インプリメンテーション

PLETHORA X5 は MIDI によるコントロールに対応しています。

MIDI CC のマッピングについては以下をご参考ください。

MIDI CC	MIDI VALUE	パラメーター
CC 94	64-127	BOARD ▽
CC 95	64-127	BOARD △
CC 102	0-63 → OFF, 64-127 → ON	PEDAL 1 ON/OFF
CC 103	0-63 → OFF, 64-127 → ON	PEDAL 2 ON/OFF
CC 104	0-63 → OFF, 64-127 → ON	PEDAL 3 ON/OFF
CC 105	0-63 → OFF, 64-127 → ON	PEDAL 4 ON/OFF
CC 106	0-63 → OFF, 64-127 → ON	PEDAL 5 ON/OFF
CC 107	0-127	HOT KNOB 1
CC 108	0-127	HOT KNOB 2
CC 109	0-127	HOT KNOB 3
CC 110	0-24	LOOPER RECORD(PEDAL 1)
	25-50	LOOPER RECORD(PEDAL 2)
	51-76	LOOPER RECORD(PEDAL 3)
	77-102	LOOPER RECORD(PEDAL 4)
	103-127	LOOPER RECORD(PEDAL 5)
CC 111	0-24	LOOPER PLAY(PEDAL 1)
	25-50	LOOPER PLAY(PEDAL 2)
	51-76	LOOPER PLAY(PEDAL 3)
	77-102	LOOPER PLAY(PEDAL 4)
	103-127	LOOPER PLAY(PEDAL 5)
CC 112	0-24	LOOPER CLEAR(PEDAL 1)
	25-50	LOOPER CLEAR(PEDAL 2)
	51-76	LOOPER CLEAR(PEDAL 3)
	77-102	LOOPER CLEAR(PEDAL 4)
	103-127	LOOPER CLEAR(PEDAL 5)
CC 113	0-24	LOOPER PAUSE(PEDAL 1)
	25-50	LOOPER PAUSE(PEDAL 2)
	51-76	LOOPER PAUSE(PEDAL 3)
	77-102	LOOPER PAUSE(PEDAL 4)
	103-127	LOOPER PAUSE(PEDAL 5)

- ・ MIDI PC による BOARD 切り替えにも対応しており、MIDI PC 0-126 が BOARD 1-127 に適応します。
 - ・ PLETHORA X5 は各 BOARD で最高音質を保つために、BOARD の切り替え時に DSP をリセットします。
- そのため、切り替え時にラグタイムが発生しますが、これは PLETHORA X5 のコンセプトに基づいた物であり、仕様となります。

ファームウェアアップデート

PLETHORA X5 は皆様からのフィードバックに基づきプラットフォームのアップデートを行います。

これにより新しいペダルや新機能の追加、バグ改善のためのファームウェアがリリースされる場合があります。

PLETHORA X5 の製品ウェブページ (<https://www.tcelectronic.com/p/P0D9M>) で、ファームウェアがリリースされているかどうかを定期的にチェックしてください。

ファームウェアアップデートの方法

1. PLETHORA の本国製品ページから新しいファームウェアをダウンロードします。
2. PLETHORA を USB ケーブルで PC/Mac に接続します。
3. PLETHORA の電源を入れます。
4. PC または Mac 上で PLETHORA をドライブとして認識します。
5. 認識された PLETHORA ドライブ内にダウンロードしたファームウェアファイルをドラッグアンドドロップします。
6. PC または Mac 上のデバイスを安全に取り外す指示に従って PLETHORA をコンピューターから取り外します。
7. USB ケーブルを取り外したら PLETHORA の電源を切り、再度電源を入れます。
8. 自動的にアップデートが開始されます。

※アップデート中は絶対に電源アダプターを抜いたりしないでください。本体が破損し起動しなくなる場合があります。もし、上記原因により起動しなくなってしまった場合は保証対象外となりますのでお気を付けてください。

※ファームウェアのベータテスターでベータバージョンのファームウェアがインストールされている場合はアップデート後に本体の初期化を行う必要がある場合があります。もしくはオフィシャルリリースされている以前のバージョンまでダウングレードを行ってからファームウェアのアップデートをお試しください。ダウングレードの手順はアップグレードと同様です。新しいファームウェアの代わりに古いファームウェアをドラッグアンドドロップしてください。

仕様

電源	スタンダード 5.5 x 2.1mm DC
消費電流	9VD センターマイナス 600mA 以上 (電源アダプター付属)
サイズ (W x H x D)	298.5 x 53 x 116 mm
重さ	1.4 kg

輸入販売元

株式会社エレクトリ

〒105-0022

東京都港区海岸 2-7-70

HP:<https://www.electori.co.jp/>

※本ドキュメントの弊社以外のサイトや SNS における 2 次配布は禁止致します。

また、弊社の許可なく本ドキュメント内の表現、データを使用することを禁止致します。

tc electronic